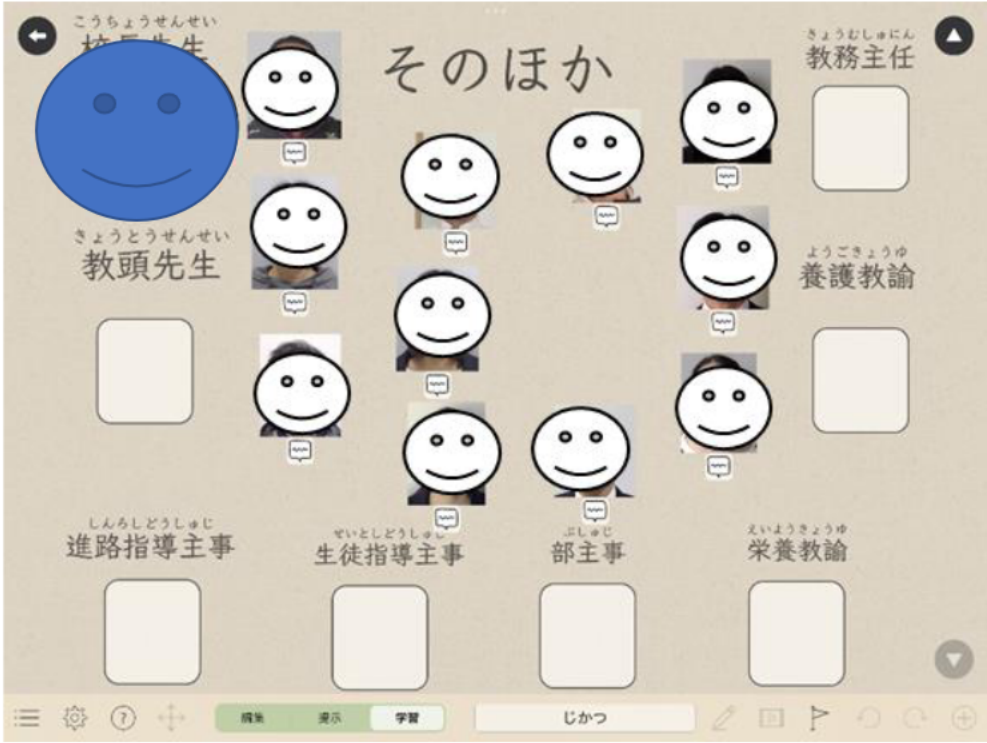


11. 自立活動



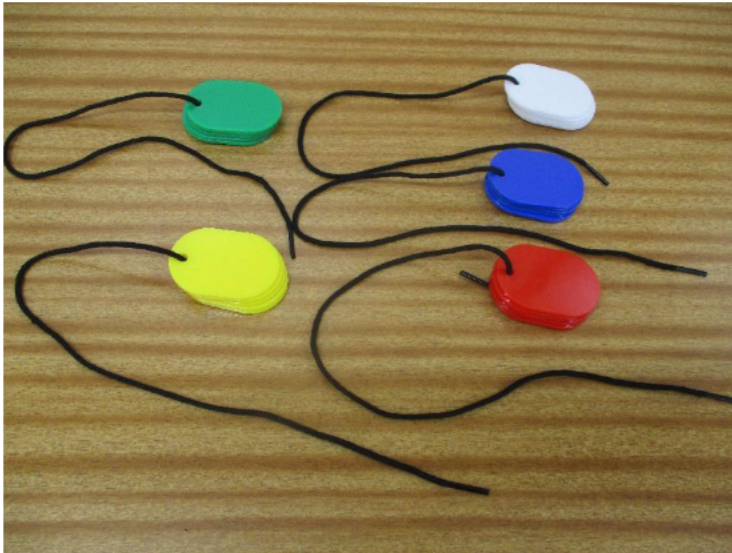
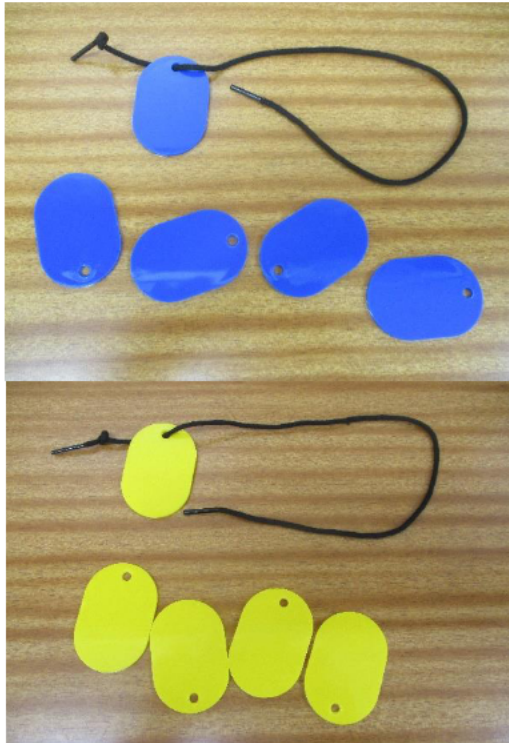
教材教具名	Finger Board Pro	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・学校の先生の名前や学級、役職を覚えることができる。		
材 料	iPad、アプリケーションソフト（Finger Board Pro）		
使用方法	・学年や学級の所属、役職と先生の顔写真（名前）をマッチングする。		
エ 夫 点	・意欲的に取り組めるように正誤判定を付けた。 ・顔写真をタップすると名前が表示されるようにして顔と名前を覚えられるようにした。		

教材教具名	いろをさわろう！	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・ 集中力を高めることができる。		
材 料	タブレット端末		
使用方法	・ 生徒が5つのファイルの中から好きなものを選ぶ。 ・ 教師と押す色を確認し、教師が再生ボタンを押す。 ・ 生徒が始めの色の丸を押す。 ・ OK 画面が出たのを教師が確認してスタート！！（タイムを計る） ・ 最後まで終わったら同じ色のシールを表に貼り、次のファイルを選んで行う。 ・ 五つのファイルすべて行う。（各ファイルでタイムを計る）		
エ 夫 点	・ 別課題としてカラーボールの色分けを行っており、関連性をもたせて作成した。 ・ テンポのいい曲を付け、早く取り組もうとする意欲をもてるようにした。 ・ 集中力に応じて、問題数を少なくした。 ・ タイムなどに応じて問題数を考えることができるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	ちょう結び	教科・領域	自立活動
ね ら い	・手指の巧緻性を高めることができる。 ・ちょう結びをすることができる。		
材 料	有孔ボード、靴ひも		
使用方法	・黒と白のひもを使用して、ちょう結びをする。		
エ 夫 点	・結ぶときにひもの上下などが分かりやすいように黒と白の靴ひもを使用した。		

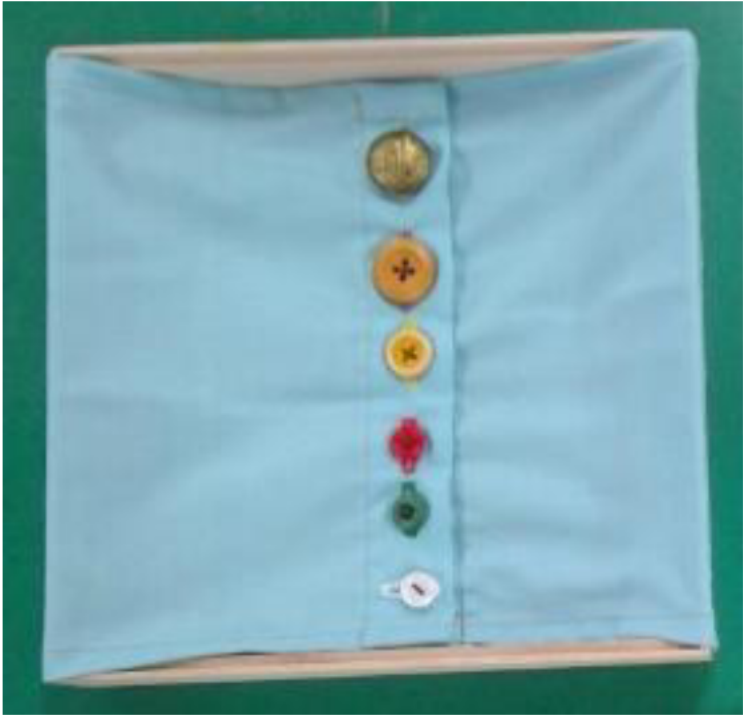
愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	ひも通し	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・ 集中力して活動に取り組むことができる。 ・ 色の分別をすることができる。		
材 料	札、つづりひも		
使用方法	・ 5色の札を混ぜて机上に置く。 ・ 同じ色の札を1本のひもに通していく。 ・ 5色に分別する。		
エ 夫 点	・ 先が固くなっているつづりひもを使用することで、通しやすくした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	ブロック組立て	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・集中力や想像力、手先の巧緻性を高めることができる。		
材 料	ブロック、指示書		
使用方法	・色や大きさがどのくらい理解できているか確認する。 ・ブロックを組み合わせて見本と比べる。 ・組み立てが完成したら分解して次のレベルに挑戦する。 ・レベル8では、組立て・分解のタイムを計測する。		
エ 夫 点	・見本をできる限り、実物大にした。 ・レベルを設定することで児童生徒の実態に合った難易度で行うことができるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	ボタン付け	教科・領域	自立活動
 			
ね ら い	・段階的にボタンの着脱の練習をすることができる。		
材 料	フェルト、いろいろな大きさのボタン、リボン、フェルトボール		
使用方法	・ボタン付け① ～ボタンをとおしてみよう～ 5色のフェルトの中心にある切れ込みに、リボンの付いたボタンをとおしていく。 ・ボタン付け② ～はらぺこあおむしを作ろう～ はらぺこあおむしの胴体にみたてたフェルトを、ボタンをつけてつなげていく。 ・ボタン付け③ ～シャツのボタンを付けよう～ 形や大きさの異なるボタンを順番に付けていく。		
エ 夫 点	・児童生徒が興味・関心のありそうな色やキャラクターを用いて作った。 ・ボタンの大きさを変えることで、徐々に難易度を上げながらボタン付けができるようにした。 ・ボタンホールの色をボタンと同じにすることで、ボタンを付ける位置を分かりやすくした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

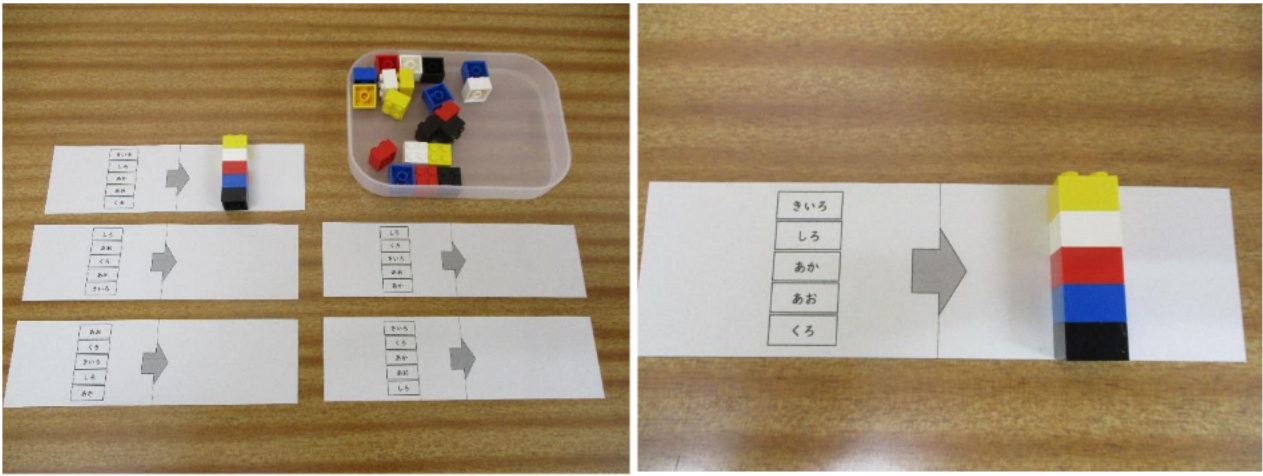
教材教具名	ミニハードル（ゴム）	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・脚力の向上を目指すことができる。 ・敏捷性や巧緻性などの体の調整力を養うことができる。		
材 料	木材、ねじ、ゴム		
使用方法	・ハードルの支柱にゴムでつないで使用する。		
工夫点	・木にくぼみを付けたことで、高さを3段階（10cm、20cm、30cm）の変更ができるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	ミニハードル（塩ビ管）	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・ 体力（特に脚力）の向上を目指すことができる。 ・ 敏捷性や巧緻性などの体の調整力を養うことができる。		
材 料	塩ビ管、TS エルボ、TS チーズ、スポンジ		
使用方法	・ 並べられたミニハードルをまたぎ越す、両足で跳び越す。 ・ ミニハードルの高さを変えて取り組む。		
エ 夫 点	・ 様々な長さの塩ビ管を用意することで、ハードルの高さを変えることができる。 ・ スポンジを付けることで、足に当たっても痛くないようにした。		

教材教具名	言葉だけで伝えよう	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・語彙力や表現力を高めることができる。 ・相手の言葉による指示を理解することができる。		
材 料	ブロック、衝立		
使用方法	・2名で行い、「伝える人」と「作る人」に分かれる。 ・2名は、同じ種類のブロックセットを使用し、間に衝立を立てて手元が見えないようにする。 ・言葉による指示のみで同じモデルを完成させる。		
工夫点	・完成させるモデルに使用するブロックの数を調整することで、難易度の調整ができるようにした。 ・2名が向かい合って行い、衝立を使用することで、言葉のみによる指示が伝わらないときに、身振り手振りができるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	指示書を理解しよう	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・ 文字を読んで理解することができる。		
材 料	ブロック、指示書		
使用方法	・ 5枚の指示書のとおりブロックを組み立てる。 ・ 完成したブロックは指示書の右側に置く。		
エ 夫 点	・ 5枚の指示書のとおりブロックを組み立てるとすべてのブロックを使いきれるようにしたことで、間違いがあったときに自分で気付くことができるようにした。		

教材教具名	心を一つに ブルーインパルスを飛ばそう	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・投球動作を習得することができる。 ・合図に合わせて投げることができる。 ・友達の動きを意識しながら、自分の動きを調整することができる。		
材 料	トイレットペーパー芯、ブルーインパルスペーパークラフト、ストロー、タフロープ		
使用方法	・オリンピックのブルーインパルスの動画を見る。 ・飛行機をもち、合図を聞いて投げる。		
エ 夫 点	・ロープの種類は、タフロープを細く裂いたものが、一番活動しやすかった。 ・持ちやすくした。 ・5色の煙に見立てて、キラキラテープを付けて注目しやすくした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	組立・分解	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・手指の巧緻性を高めることができる。 ・写真を手掛かりに入れる場所を理解することができる。 ・主体的に取り組む態度を養うことができる。		
材 料	B5 クリアケース、厚紙、ボールペン、醤油さし、割箸		
使用方法	・クリアケースを開き、写真の完成品の場所に組み立てた物を置く。(組立) ・クリアケースを開き、元の状態に戻す。(分解)		
エ 夫 点	・仕切りを作ることで、それぞれの場所がしっかり分かれ、児童生徒が自分で考えて取り組む手掛かりを作るようにした。 ・クリアケースを使うことで、収納や片付けなども自分でできるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	背筋伸ばさなきや鳴いちゃうぞ	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・姿勢保持の要点を知り、意識して座ることができる。		
材 料	椅子、フェルト、音の出る人形		
使用方法	・椅子の背もたれにカバーをつけて座る。 ・「ニワトリが鳴かないよう背筋を伸ばそう」と言葉掛けをする。 ・音が鳴ったら姿勢が崩れているので、「鳴かないように良い姿勢しよう」と、もう一度言葉掛けをする。 ・良い姿勢の姿を写真に撮って本人に見せたり、良い姿勢を褒めたりする。		
エ 夫 点	・少し硬めのフェルト生地を使用した。 ・楽しみながら取り組めるよう、ニワトリの人形を選んだ。また、ゆっくり圧がかかっても空気が抜ける時に音が鳴る仕様になっている。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	もぐもぐぱっくん	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・目と手の協応性や両手の巧緻性の向上を図ることができる。 ・実態に応じて色や物の名前、数の学習をすることができる。		
材 料	フェルト、綿、鈴、画用紙、段ボール		
使用方法	・くまの口に果物を入れる。		
エ 夫 点	・絵本などの物語に合わせて活用できるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	果物狩り	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・目と手の協応性や両手の巧緻性の向上を図ることができる。 ・実態に応じて色や物の名前、数の学習をすることができる。		
材 料	フェルト、綿、鈴		
使用方法	・果物を木から取って籠に入れる。		
エ 夫 点	・壁面で使用し、立位姿勢で課題に取り組めるようにした。 ・フェルトで制作し、握りやすくした。また、投げてもけがをしないようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	魚釣り	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・目と手の協応性や両手の巧緻性の向上を図ることができる。 ・実態に応じて色や物の名前、数の学習をすることができる。		
材 料	紙粘土、アクリル絵の具、ニス、フェルト、ひも、磁石		
使用方法	・マグネット付き釣りざおやタモ網を使って魚を釣る。		
エ 夫 点	・フェルトの魚は力が弱い児童生徒でも簡単に釣り上げられるようにした。 ・紙粘土の魚は磁石を小さくし、狙いを定めて釣れるようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校

教材教具名	身に付けるコミュニケーションクッション	教科・領域	自立活動
			
ね ら い	・本教材を身に付けておくことで、どこにいても自分の気持ちを伝えることができる。		
材 料	ステッチテープ、布、面ファスナー、綿、転写紙、名札クリップ		
使用方法	・自分の意思を伝えたいときに、面ファスナーから外し、相手に渡す。		
エ 夫 点	・日常的に使用できるように、ストラップ型のコミュニケーションカードにした。また、ストラップの端にクリップを付け、どのような洋服でも着脱できるようにした。 ・カードをクッションタイプにしたことで、日常的に利用しても壊れにくく、繰り返し使えるようにした。また、厚めにしたことで、児童が手に取りやすく貼りやすい形状にした。 ・面ファスナーで取り付けられるようにし、児童が手に取りやすく、自分で元の場所に貼りやすいようにした。		

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校